

平成27年度 第2回 十勝定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事要旨

日時：平成27年10月26日（月）15:00～16:20

場所：帯広市消防庁舎 3階 屋内訓練場

■ 出席委員（17名）

志賀委員（座長）、荒委員、中岡委員、平林委員、白石委員、高橋委員、高倉委員、小倉委員、大西委員、宮嶋委員、鈴木（孝）委員、今川委員、廣瀬委員、丸山委員、福原委員、松田委員、松本委員

■ オブザーバー

音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、芽室町、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、浦幌町

十勝圏複合事務組合、十勝総合振興局

医療・福祉作業部会、教育作業部会、産業振興・地産地消作業部会、環境作業部会、人材育成作業部会、企画作業部会、消費生活作業部会、電算システム作業部会

■ 事務局

阿部政策推進部長、池原政策推進部政策室長、河原政策室政策主幹、竹川政策室政策副主幹、村上政策室主任補

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 意見交換の進め方について（資料1）
 - (2) 第2期共生ビジョンに係る意見交換（資料2～3）
- 3 その他
- 4 閉会

■ 議事要旨

1 開会

- 委員29名中17名が出席し、過半数に達しているので、設置要綱第6条第2項の規定により、会議が成立している旨を報告
- 会議資料の確認

2 議事

(1) 十勝定住自立圏の概要及び意見交換の進め方について（資料1）

【座長】

はじめに、「(1) 意見交換の進め方について」を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1に基づき説明いたします。本日は第2期共生ビジョン原案について協議を行います。12月に管内住民を対象にパブリックコメントを実施し、1月に最終案を協議、年度内に第2期共生ビジョンを策定する予定でございます。

本日の進め方ですが、原案の内容と、委員からのご意見等への考え方について、一括して説明いたします。その後、全体を3つに分け、ご質問、ご意見をいただきます。なお、新規提案もお受けいたしますが、パブリックコメントまで期間がありませんので、現時点では参考意見とさせていただきます、次年度以降の改定も視野に各作業部会で協議したいと考えております。

【座長】

ただ今の説明について、ご質問などございませんか。

(質問なし)

【座長】

それでは、事務局説明の通り進めてまいります。

(2) 第2期共生ビジョンに係る意見交換（資料2～3）

【座長】

次に、「第2期共生ビジョンに係る意見交換」を議題といたします。
事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料2、第2期共生ビジョン原案をご覧ください。

目次ですが、現在のビジョンと同じく4章構成を予定しております。附属資料は本日掲載しておりませんが、最終案で整理を予定しております。

第1章では、共生ビジョン懇談会の開催経過、ビジョンへの追加項目、昨年度から開催している市町村長意見交換会について記載を追加しております。ビジョンの期間は平成28年度から平

成31年度までの4年間で、前回懇談会での説明の通り、各市町村の総合戦略の期間と合わせております。また、成果目標として、十勝管内観光入込客数1,020万人、十勝管内バス乗客数462万人の2つを、今回追加いたしました。十勝定住自立圏は3つの政策分野を掲げておりますが、このうち、生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化に対応する目標として、この2つを設定したところであります。圏域マネジメントの分野については、職員の研修などでありますので、目標としては割愛いたしました。観光入込客数は、北海道の総合戦略と歩調を合わせる観点から、同じ数値目標としたものであります。また、バス乗客数は、平成24年から平成26年までの平均457万人を基準に、平成31年度までに1%ずつ伸ばす考え方で設定しております。

第2章では、人口、面積、紹介文などを時点更新しております。12ページには、他圏域との比較を掲載しております。人口が唯一増加している石狩圏を除き、十勝は人口減少率が道内で最も低い状況でございます。13ページ以降は時点更新を中心に、新規項目、拡充項目に関する記述を追加しております。14ページの福祉分野では、高齢者の自立生活の支援について、認知症高齢者が市町村を超えて徘徊をしている状況などを記載しております。16ページの教育分野では、スポーツ大会等の誘致について、単独市町村では施設の収容能力等に限りがあり、広域連携が必要となっている現状を記載しております。18ページの産業振興分野では、フードバレーとかちの取組経過として、人工衛星を活用した農業情報サービスの実証試験やバイオマス産業都市、21ページには、大手食品メーカーとの包括連携協定について紹介しております。次に27ページの航空宇宙産業は、管内における取組経過などを追加しております。28ページの環境分野は、環境保全に関する情報発信などを追加しております。29ページの防災分野では、民間企業やボランティア団体等の連携について記載いたしました。30ページの地域公共交通でございますが、まちづくりと連動した公共交通機関の利用促進について記載を追加しております。32ページでは、新規項目として、結婚支援に関する現況を記載しております。34ページのデータ分析では、国が提供している地域経済分析システムの活用状況などを紹介しております。

第3章では、人口減少への対応を進めていく旨を記載したほか、フードバレーとかちなどに取り組んできた結果、圏域の活力が向上し、人口も他圏域と比較して堅調に推移をしてきたこと、管内の連携気運が高まってきたことなどを記載しております。

第4章ですが、36ページの「高齢者の見守り体制の充実」は、「高齢者の生活支援体制の構築」の誤りですので、修正をお願いいたします。41ページの高齢者の生活支援体制の構築では、前回説明した高齢者の見守りに加え、介護士不足等への対応を追加しております。市町村長の意見交換において、介護士不足への対応が必要とのご意見があったものであります。44ページには、スポーツ大会等の誘致について記載しております。46ページ、フードバレーとかちの推進では、地域産業の発展を支える人材育成の推進を拡充項目として記載してあります。帯広畜産大学と連携をした人材育成事業や、地元金融機関が中心となった人材育成が進んでおり、圏域として支援しながら取り組みを進めるものでございます。50ページ、農業振興と担い手の育成ですが、こちらも市町村長の意見交換でのご意見があったもので、農業労働者が不足していることから、首都圏などでの合同企業説明会を通じた人材確保などを想定しております。52ページは航空宇宙産業基地構想の推進を新規項目として追加いたしました。53ページ、環境分野では、地球温暖化防止の取り組みを管外へ情報発信することを拡充項目として追加しております。58ページの結婚を希望する若者の支援は新規項目でございます。最後に60ページでは、ビッグデータなどを活用した分析、政策の検討等を新規項目として記載してございます。

次に、資料3をご覧ください。委員からのご意見に関する考え方でございます。1番目のご意見については、引き続き作業部会が連携した検討、取り組みを進める旨、記載しております。2番目のソーシャルファームに関するご意見については、国・北海道・市町村の既存制度を活用したご支援が妥当と考え、協議対象から除外という整理をしております。3番目、出生率向上対策が必要とのご意見ですが、各市町村でさまざまな取り組みが進んでいる中で、定住自立圏としては、住まいと勤務地が違うという方のニーズを踏まえ、保育所の広域入所に引き続きに取り組む考えでございます。4番目、地域活動支援センターの一覧については、ご意見を踏まえ、今後パ

ンフレットを作成し周知していく予定であります。5番目のご意見は、徘徊高齢者だけでなく、独居の高齢者への見守りも必要との主旨であります。身近な市町村での日常的な見守り活動を基本に、定住自立圏としては市町村の範囲を越えて徘徊をするケースへの対応に取り組んでいく考えであります。6番目、高校の間口に関するご意見につきましては、高校を所管する北海道教育委員会に地域の声をしっかりと届けていくため、これまでの枠組みにより継続的な取り組みを進める考えであります。7番目の十勝ブランドのバックアップですが、定住自立圏としても十勝ブランド認証等を進めており、引き続き取り組んでいく考えでございます。8番目の新たな雇用の場づくりにつきましては、拡充項目である産業人材の育成などを通し、新しい産業を牽引するリーダーを育て、新たな仕事づくりにつなげる考えであります。9番目と10番目は観光案内板などの多言語表記についてであります。施設の管理者が異なるため統一した対応は難しく、各管理者の判断によるものと考えてございます。11番目、エゾシカの解体処理の関係ですが、エゾシカ捕獲後、短時間での解体が必要という法律上の制約がある関係で、十勝圏でまとまった施設を作るとするのは運搬時間の関係で難しい状況にあります。商品開発や販路拡大については、フードバレーとかちの取り組みを通し、引き続き支援してまいりたいと考えております。12番目は、ゴミの不法投棄に関するご意見でございます。啓発活動を中心に組み込んでまいりたいという考えでございます。13番目、地域防災マスターに関するご意見ですが、北海道で所管している制度でございます。募集や掘り起こしは北海道での対応となりますことから、対象から除外とさせていただきます。14番目、防災関連の有資格者のスキルアップ、情報交流につきましては、各市町村の取り組みの情報共有をはかっていく考えでございます。15番目、災害時のボランティアの受け入れに関するご意見でございます。各市町村が防災計画に基づき実施する内容でありまして、広域での対応は難しい状況でございます。ボランティアの相互派遣などについては、団体等との連携を検討していく予定でございます。今後整理したいと考えております。16番目、災害時における圏域外との相互応援については、既に関係機関・団体と協定を締結しておりますので、その枠組みで進めていく考えであります。17番目、まちづくりに連動したバス利用については、帯広市で進めているシニア層向けの情報発信などを広域展開していく考え方でございます。最後18番目、町内会の加入促進に関して参考意見いただきました。現在、各市町村で、町内会活動への助成や普及啓発を進めているほか、広域の協議会が研修や交流事業などを実施しているところでもあります。協議対象から除外した項目の多くは、各市町村で既に取り組まれている、あるいは、広域連携の枠組みが別にあることが主な理由でございます。説明は以上でございます。

【座長】

はじめに資料3について、ご発言をお願いしたいと思います。

(発言なし)

【座長】

次に資料2の原案について、はじめに、医療・福祉、教育分野から意見交換を行います。ご発言をお願いしたいと思います。

【委員】

バス乗客数を、定住自立圏の成果目標とする理由は为什么呢。

【事務局】

「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」については、地域公共交通、地産地消、移住・交流、結婚の支援の4項目が該当いたします。地産地消は産業振興との関係が深く、結婚支援は新規項目ということで、公共交通と移住を候補として比較検討いたしました。住民生活に

密接に関係するという事で、地域公共交通を成果目標とさせていただきました。

【座長】

医療・福祉・教育から議論しますので、後ほど改めてご発言をお願いします。

ほかになれば、事務局説明の通り36ページの表現を一部修正し、医療・福祉・教育については意見交換を終了してよろしいでしょうか。

(意見なし)

【座長】

次に、産業振興・地産地消分野について意見交換をお願いします。

はじめに、資料3について、ご発言をお願いいたします。

【委員】

十勝の農業は大きな発展を続けておりますが、今後も永続できる体制をとり、活発化していく必要があります。農産物の輸出に取り組んでいますが、生産コスト、品質・安全だけでは打ち勝っていけない。十勝の住民が十勝のものを食べ、十勝のものを愛することが大切だと思います。また、試験研究機関、品種改良、農業の環境整備などが重要で、長い目で課題に取り組んでいかなければならないと思います。十勝で生産されたものは美味しく、クリーンで、環境にもよくて、本当に消費者に愛される生産地になるよう、大きな目標が必要だと思いますし、産官学連携をさらに打ち出しながら、人材育成や、人を呼び込んでいくことが大切だと思います。

また、農業と観光の共存共栄のためには、防疫関係が重要です。十勝が先端的な取り組みをしていかなければならないと思います。何か起こると大きなダメージを受けます。こういうことも含め、知恵を出し合い、さまざまな課題を解決していただければと思います。意見として申し上げます。

【座長】

さまざまな取り組みを相互に関連させて進めるべきとの趣旨でよろしいでしょうか。

【委員】

はい。今後も発展していくためのネットワークとして。

【座長】

ありがとうございます。他にございますか。

【委員】

先日、牛の全国大会があつて、十勝は素晴らしい成果を残しました。こういうことも大々的にPRすれば、十勝ブランドと言われるようになると思います。私のまちのバイオマスプラントも非常に多くの人が見に来ています。こういったことも含め、環境、観光に結び付けたPRを進めていただきたいと思います。

【座長】

ご意見として承ってよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【委員】

「十勝」という良いイメージを持った名前が、いろんなところで使われています。これを何とかしたいということで、「十勝品質の会」というものを始めました。今年から地理的表示保護制度が始まり、チーズを提案しているのですが、他の素材にも活用していけると思います。「十勝」という名前を守る取り組みですので、十勝全域で取り組まなければならない。地理的表示保護制度は、外国に出ていく時に「十勝」という名前の権利を国が守る仕組みです。シンガポールなどに向けて取り組んでいる人達がたくさんいて、十勝という名前を背負って出て行っています。できるだけ早く「十勝」という名前を掲げた商品を作り、それを守ってもらえる体制を作っていくことをぜひ進めていただきたいと思います。

【座長】

ご意見として受け承ってよろしいでしょうか。

【委員】

はい。十勝ブランドの発展として、視野をそちらに向けていただけたらと思います。

【座長】

他にご意見はございませんか。

【委員】

人口減少対策が少ないという意見を提出しましたが、これに対する考え方の中で、十勝の産業を牽引するリーダー人材を育成して輩出するとあります。具体的にはどういうことでしょうか。

【産業振興・地産地消作業部会】

人材流出に対する取り組みとして、産業界を担う方々が定着できるよう、仕事を創ることが重要だと考えております。そのために、人材育成に取り組み、そうした中で地域の企業が育っていくことができるようにと考えているところでございます。

【事務局】

若干補足しますと、新しい仕事を起こせる人材を育てなければ新しい仕事生まれ、若い方にとって魅力のある仕事を創っていく人材を育てなければならないという考えでございます。現在、帯広畜産大学と帯広市が共同で人材育成事業を実施しているほか、地元金融機関による「とかち・イノベーション・プログラム」ということで、起業したいと考えている方々が意見交換をして新しい事業を創るという試みも進めております。こうした中から新しい仕事を創れないかということで、原案には産業人材の育成の追加したものでございます。

【委員】

人材育成はよくわかりますが、十勝がいかに有利な地域であるかというデータを、もう少しきちんと示した方がいいと思います。それによって、若い人達が夢を描けるような材料を与える。例えば、19ページのグラフ、十勝の食料自給率は、地域としてはダントツです。では何故これほどの生産力があるのかということを示すことで、若い人たちが夢を描きやすくなるような情報を揃えてあげたら良いと思います。

【座長】

ご意見として承りたいと思います。
他にご意見などがございましたら、ご発言をお願いします。

(質問・意見なし)

【座長】

十勝のプライドと言いますか、思いを日本中に伝えようというような強いご意向が、ご意見に出ていたかと思います。表現を含め、書き込めるようなところがあれば、ご意見を尊重していただければと思います。

産業振興・地産地消の分野、以上で終了していただいてよろしいでしょうか。

(質問・意見なし)

【座長】

次に、その他の分野について意見交換を進めます。
資料3について、皆さんからご意見をいただきたいと思います。

(質問・意見なし)

【座長】

なければ、資料2についてご意見をお願いしたいと思います。

【委員】

バイオマスについては家畜排泄物が非常に多くなっています。畜産現場では、十勝川を汚染しないよう、糞尿処理する、堆肥を作る取り組みを進めましたが、その後、問題が解決しているかどうか分からない。十勝川はもう問題ないのか、堆肥として、バイオガスとして十分利用されているのかどうかよく分かりません。利用量を見ると結構使われているようですが、問題はないと考えてよいのでしょうか。

【産業振興・地産地消作業部会】

利用率はまだ100%という状態ではなく、全てが解決したということではないと考えております。十勝バイオマス産業都市構想を通して有効活用に取り組んでおりまして、今後もエネルギー化などを推進して、環境負荷を軽減していく考えであります。

【座長】

他にいかがでしょうか。

【委員】

農業振興と担い手の育成について、農業就労希望者への情報提供など、地域の実情に応じた支援と書いてありますが、具体的な内容を説明していただけますか。

【産業振興・地産地消作業部会】

合同企業説明会等を行い、農業に従事したいという方を対象に情報提供をはかろうというものです。各自治体で、例えばホームステイとか、農繁期に従事していただくなどの取り組みが行われておりますので、そうした地域の実情に応じて取り組んでいくという考えであります。

【委員】

私のまちでは、農家一戸あたりの面積が50ヘクタール近くになっており、それを家族で賄っているのが実情です。今のところ、遊休農地などは生じておりませんが、やはり不安がないとは言えません。なかなか大変なことはと思いますが、遊休農地が生じないように、ぜひ進めていただければと思いますので。

【座長】

ご意見と承りたいと思います。

他にご意見はございますか。なければ、その他の分野に関して意見交換を終了してよろしいでしょうか。

(質問・意見なし)

【座長】

最後に全体を通して、ご意見、ご質問などあればご発言をお願いします。

【委員】

先ほど成果目標について質問しましたが、バス乗客数しか数値として追えないということで理解してよろしいでしょうか。

【事務局】

移住者数も候補ではありましたが、住民生活の基盤を整えていくという視点で考えた場合に、バスの乗客数がふさわしいと考えたものでございます。

【座長】

これだけ多くの項目がある中で、成果目標として観光入込客数とバス乗客数だけなのかと言う印象も受けますが、そのあたりはいかがでしょうか。

【事務局】

十勝定住自立圏は、「生活機能の強化に係る政策分野」以下、3つの大きな分野ごとに、目標を1つずつというのが事務局の考え方であります。生活機能の強化については、広域観光が北海道の総合戦略に成果目標として掲げられております。また、2番目の「結びつきネットワークに係る政策分野」については、先ほどの説明のとおりでございます。1つの指標で分野全体を代表できるかと言えば、必ずしもそういうことではありませんが、毎年度の懇談会において検証を行う中で、進捗状況に関する具体の数値もお示ししております。今後も、目標は目標として追いながら、各分野の進捗状況については具体的な数値を含めて説明し、改善点や今後の取り組みについてご意見等を承りたいと思います。

【委員】

例えば、移住などについては、自治体により力の入れ具合とか地域性もあると思いますけれども、情報共有することで十勝圏の発展につながる。情報を出すことで、どういう方向性が良いのか相互に比較できると思います。是非そういう部分も力を入れていただければと思います。

【事務局】

成果目標として2つの数値を追いつつ、移住体験人数や、移住相談者から実際どれくらい移住したかというデータも把握しておりますので、今後の進捗管理の中で情報をお示ししながら、改善に向けていきたいと思っております。

【座長】

各市町村の総合戦略で人口に関する目標が設定されると思うのですが、その合計を共生ビジョンの成果目標として掲載するということはできないのでしょうか。

【事務局】

人口目標を持っている自治体はいくつかありますが、帯広市の場合、目標ではなく将来展望という形でして、必ずしも全ての市町村が人口目標を持つということではありません。人口対策、特に自然動態、出生等に係る部分は、中長期的な取り組みが重要でありますので、4年後の具体的な目標となると難しい面がございます。各自治体にそれぞれ考えがあろうかと思いますが、今回の共生ビジョンでは人口目標を設定することは難しい状況でございます。

【座長】

他にご意見はございませんでしょうか。

【委員】

物流の関係ですが、野菜の出荷などはJRを活用していますが、新幹線ができた場合に、十勝にメリットはあるのか。というのは、新幹線と線路を共用するので、コンテナをどう運ぶのかという問題が起きます。港湾の整備についてももう少し考えておかないと、影響が出てからでは遅いと思います。意見として申し上げます。

【座長】

私も、物流については長期的展望を持って進めていかなければならないと別の場で申し上げます。ここですぐに解決というわけにはまいりませんが、貴重なご意見をありがとうございました。

他にいかがですか。

(質問・意見なし)

【座長】

なければ、以上で第2期共生ビジョンに係る意見交換を終了いたします。

事務局におかれましては、本日のご意見等を今後の取り組みに十分生かし、関係する作業部会等で協議を進めていただきますようお願いいたします。

最後に、修正部分の再確認をお願いします。

【事務局】

36ページ、第4章の取組項目一覧でございます。「高齢者の見守り体制の充実」を、「高齢者の生活支援体制の構築」という表現に修正したいと思います。以上でございます。

【座長】

修正の上、パブリックコメントをお願いします。以上で議事を終了します。

3 その他

【座長】

その他について、事務局からお願いします。

【事務局】

今後のスケジュールでございますが、11月を目処に各市町村議会への報告と市町村長の意見交換を予定しております。その後、12月にパブリックコメントを行います。その結果を集約して、1月に共生ビジョンの最終案をご提示したいと思います。次回の懇談会は、1月下旬を想定しております。日程を決まり次第改めて連絡を差し上げたいと思います。

【座長】

委員の皆さんから確認したいことがございましたら、ご発言をお願いします。

(質問・意見なし)

4 閉会

【座長】

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

円滑な会議運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。

これもちまして、第2回目懇談会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。